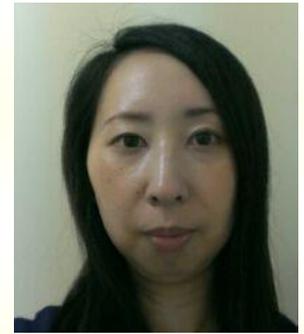


レポート花畑川

CNCP サポーター
アイセイ（株）田山麻衣美



2018年1月19日（金曜日）に行われた東京都足立区立第13中学校の二年生（約200名）を対象に「花畑川を活かしたまちづくりの推進」にファシリテーターとして参加をしました。約3時間という限られた時間の中で、花畑川について改めて考えさせられる

貴重な時間となったと感じます。

花畑川とは下の位置図にあるように第13中学校の裏手にある川で、荒川放水路（明治44着工～昭和5年完成）の舟運の混雑緩和の為に昭和6年に開削された運河で、非常に地域に密着した人口の河川です。



まずは公益財団法人リバーフロント研究所 代表理事・金尾健司氏を迎え、「多自然川づくりとかわまちづくり」の講演をして頂きました。全国には川の有効活用や川を活かした環境整備等、川と共存をすることで、地域活性化に繋がる事を理解しました。

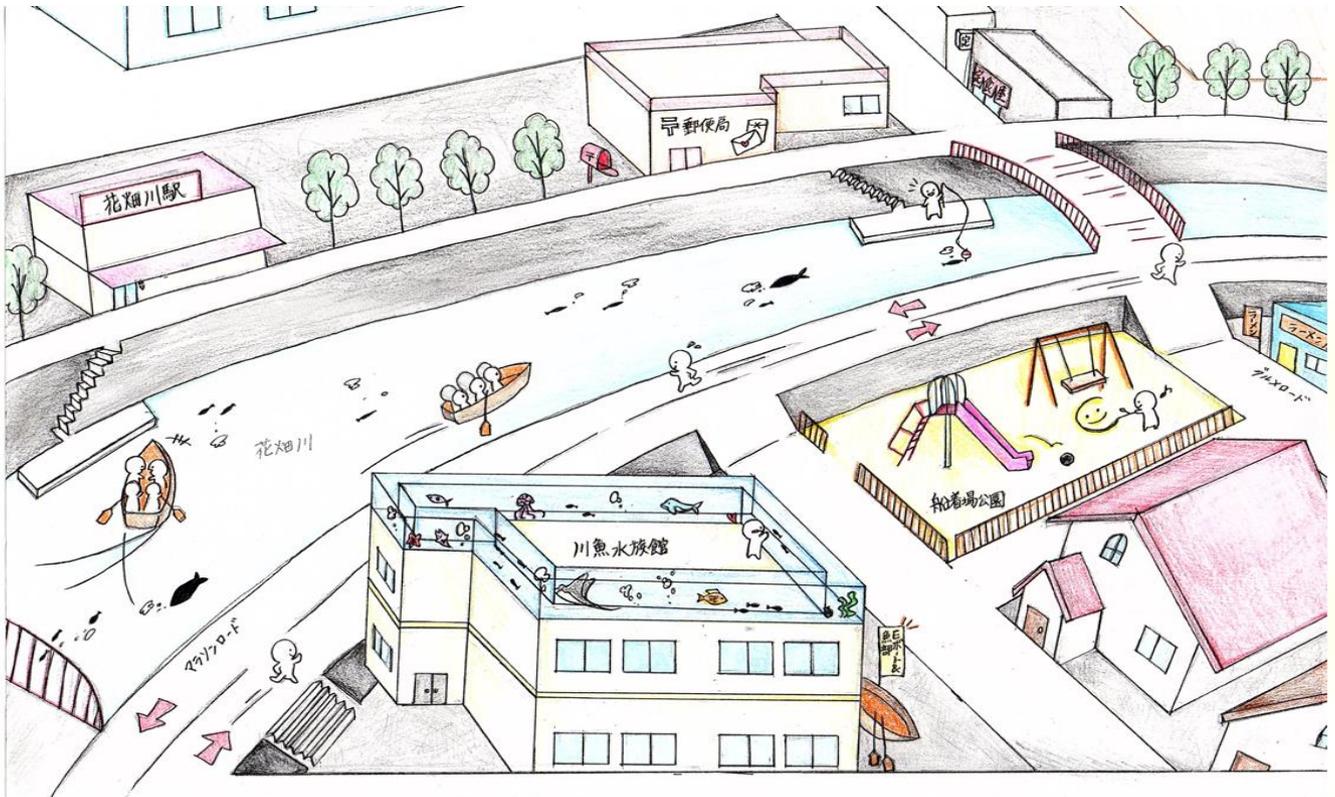
ワークショップは右写真のように1グループ15名で、計15グループあり、また一般参加者数名も生徒に混じり花畑川についてそれぞれが様々な考えを出し合いました。

テーマが2点あり、一つ目の「花畑川とこのまちで、絶対に無くしたくない事、直したいこと」では、水辺や生き物などを無くしたくない事として挙げており、直したいことにはゴミ・匂いや水質があり、全体として花畑川について考えているように感じました。



二つ目は「花畑川の将来像を描こう」では、もし5兆円あったらどうするというテーマのもと、遊園地を作る、大量にゴミ箱を設置、花を植えるなど中学生らしい意見もあれば、インスタ映えや、水

族館を作るなど、この地域を観光名所にするというアイデアもあり、花畑川だけではなく地域活性化のことも考えている事に驚かされました。またこのテーマについては、各班全員がステージに上がり発表をする形をとり、思い思いの形で発表をしていました。思った以上に濃密な発表とはいかない班もあれば、自分達の考えを思う存分発表出来た班もあったと感じました。下の図は、後日参加者の一人の学生がその思いを絵にしてくれたもので、ファシリテーターの一人として感激です。



花畑川に関するワークショップはこれまでに3回行っており、第1回目は、中学二年生約200名が花畑川で舟運を体験しました。また花畑川の水質及び今昔について勉強をし、花畑川に対する変化がありました。

第2回目は、「花畑川と水害」の公開授業の後、地域の参加者を中学生が補助してEボート体験をしました。Eボートは災害時の避難用に活躍しています。

第3回目の「エコ夢探検隊」は、残念ながら荒天の為中止になってしまいました。

第4回となる今回は以前学んだ事を踏まえての「みんなで花畑川の将来像を考えよう」というテーマのワークショップです。今回CNCPから4名参加したことでCNCPでの活動においてファシリテーターとして実践レベルでの活動が行われたことが一番大きな成果であり、サポート経験は私にとってとても貴重なものとなりました。

まずいかに中立な立場で、進行をコントロールするのか等、課題が見え、色々なことを考えさせられる、また成長できる一日だったと感じました。また、今回主催のNPO法人エコロジー夢企画理事長の三井様をはじめ、たくさんの方と交流できる、出会いの場だと感じました。

このような体験をさせて頂き、考え方や人生が豊かになっていくような感じを受けました。

このワークショップに参加でき、本当に良かったと思います。ありがとうございました。